

Press Release

令和 7 年 4 月 23 日

サイバー防犯ボランティア「SETOKU」 令和 7 年度委嘱式について

2021 年 11 月に香川大学生によって結成されたサイバー防犯ボランティア「SETOKU」は、昨年度に引き続き、香川県警察より、令和 7 年 4 月 30 日にサイバー防犯活動に関する委嘱を 4 年連続で受ける運びとなりました。また、これまでのサイバー防犯ボランティア活動に功労のあった SETOKU メンバー 5 名の方に、香川県警察より感謝状が贈呈されることとなりました。

SETOKU は、香川県警察、香川大学 情報化推進統合拠点をはじめとした関係団体と連携を強化しながらサイバーセキュリティ分野における「安全・安心な地域社会の実現」に貢献します。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 委嘱式の実施概要について

- ・ 開催日時：2025 年 4 月 30 日（水）14:00～14:30
- ・ 開催場所：香川県警察本部 6 階 大会議室
- ・ 香川大学関係者：学生 15 名、担当教職員 4 名

2 式次第

- ・ 開式のことば
- ・ サイバー・情報管理局長挨拶
- ・ 感謝状贈呈式（対象者：香川大学 5 名）
- ・ 各ボランティア団体概要説明
- ・ 委嘱状交付
- ・ 閉式のことば
- ・ 記念撮影
- ・ 取材対応・インタビュー



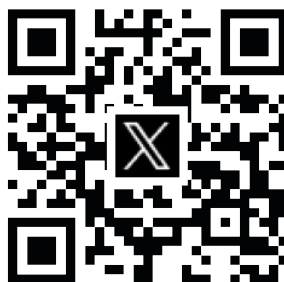
昨年の委嘱式の様子

3 その他

- ・ 研修会(SETOKU 活動内容の紹介等)

サイバー防犯ボランティア SETOKU について

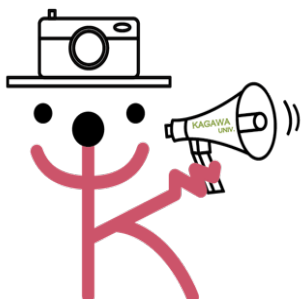
「SETOKU」は、(SEcurity Team Of Kagawa University)の略称です。2021 年 11 月 11 日（木）に香川大学生によって結成されたサイバー防犯ボランティアです。サイバー防犯ボランティアは、地域の「サイバー空間の安全・安心」を実現するため、香川大学ならびに地域における ①犯罪被害防止のための教育活動、②広報啓発活動、③サイバー空間の浄化活動を中心に取り組んでいます。



香川大学 情報化推進統合拠点について

香川大学 情報化推進統合拠点は、香川大学における情報を効果的に教育・研究・運営に活用できる専門的な知識・技能を有する人材を集約することで、本学の情報化及び DX 推進に寄与することを目的として、2023 年 4 月 1 日付で設置しました。当該拠点の 4 つの下部組織の 1 つであるサイバーセキュリティセンターは、香川大学におけるサイバーセキュリティの確保ならびに、香川大学において発生したサイバーセキュリティインシデントを把握し、被害の拡大阻止、復旧及び再発の防止に必要な措置を迅速かつ的確に行い、教育研究及び大学の運営に資するとともに、サイバーセキュリティに関する研究と教育を行い、その発展に寄与することを目的としています。

■本件に関するお問い合わせ先は、以下にご連絡ください



➤ お問い合わせ先

香川大学 情報セキュリティアドバイザー(CISO アドバイザー)
情報化推進統合拠点 サイバーセキュリティセンター
後藤田 中 gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp
情報化推進統合拠点 サイバーセキュリティセンター
竹原 一駿 takehara.ichitoshi@kagawa-u.ac.jp

*上記不在の場合

香川大学 情報部情報基盤課
渡部 昌尚 setoku-k-h@kagawa-u.ac.jp
TEL : 087-832-1292 FAX : 087-832-1293

サイバー防犯ボランティア SETOKU 広報リーダー

田宮 遥奈 setoku-k-h@kagawa-u.ac.jp



サイバー空間の安全・安心な地域社会の実現

教育活動



情報リテラシー教育

- ・トレンドマイクロ社提供教材
2021年 2校
2022年 2校
2023年 4校
2024年 4校
- ・SETOKUオリジナル教材 (LINE AI チャットボット)
2024年 1校

親しみやすさ・共感

広報啓発活動



サイバー防犯意識の向上

- ・SNSでの広報、注意喚起
X (旧Twitter): @KU_SETOKU
Instagram: @kagawa_u_setoku
- ・「サイバー防犯かるた」の作成
携帯ショップでの講演
- ・啓発ビデオの作成
YouTubeやXでの配信

若者の視点

浄化活動



フィッシング詐欺被害防止

- ・フィッシングサイトのテイクダウン
JC3、香川県警からの支援
- ・JC3主催フィッシングサイト撲滅
チャレンジカップへの参加
情報共有部門 2位
- ・CTF

情報に接する機会の多さ



興味を持つ活動に参加し 大学生ならではの を活かす

